

第32期第21回常任理事会議事録

日時：2004年5月16日（日）17時00分～18時00分

会場：東京管区気象台会議室（8階）

出席者：廣田，古川，勝山，神沢，木田，近藤，住，
田中，坪田，新野，藤部，萬納寺，以上12人

その他の出席者：島村，渡辺（事務局）

議題

1. 第32期第20回常任理事会議事録の確認
2. 第32期第2回評議員会議事録の確認
3. 各委員会等の報告

庶務…転載許可（了解済み回答）

Kenneth Campana 氏（NOAA）より下記論
文集からの転載申請

Proceedings of the International Sympo-
sium on Numerical Weather Prediction in
Tokyo (1960) から5論文

・後援名義等使用依頼受付

- (1) 気象情報に関するワークショップ「活か
そう情報，防ごう災害」
 - 1) 主催：気象庁ほか
 - 2) 期日：2004年6月1日
 - 3) 場所：気象庁講堂
 - 4) 名義：後援
- (2) 第16回地域清空会議（アジア太平洋地域
会議）
 - 1) 主催：日本大気公害防止関係団体連
合会
 - 2) 期日：2005年8月2～4日（火～木）
 - 3) 場所：工学院大学（東京新宿）
 - 4) 名義：後援
- (3) 第23回レーザ・センシング・シンポジウ
ム
 - 1) 主催：レーザ・レーダ研究会
 - 2) 期日：2004年9月16～17日（木～金）
 - 3) 場所：筑波山ホテル青木屋（つくば
市筑波753-1）
 - 4) 名義：協賛
- (4) 第30回リモートセンシングシンポジウム
 - 1) 主催：計測自動制御学会
 - 2) 期日：2004年11月1～2日（月～火）
 - 3) 場所：日本科学未来館（東京都江東
区青海2-41）

4) 名義：協賛

- ・科研費補助570万円の内定通知
- ・日本学術会議より，学協会の倫理綱領に関す
るアンケート調査依頼
該当する項目があれば各委員会が事務局に報
告する。
- ・日本学術会議法の一部改正に伴う制度の変更
等について文書受領

次のような内容が学術会議より通知され
た。「日本学術会議法の一部を改正する法律」
が成立し，2004年4月14日に交付，一部施行
された。この改正に伴い，第19期の活動，研
究連絡委員会の活動が2005年9月30日までと
なった。また，「登録学術研究団体」制度が廃
止されたが，登録されていた気象学会などの
団体は「広報協力学術団体」となり，各学会
と学術会議との連携・協力関係は維持される。
これに関連して，地球物理関連学会長等懇談
会では，学術会議との窓口としては地球物理
関連学会として意見を集約・一本化したいと
の方針になり，そのためのワーキンググルー
プが発足したことを理事長が報告した。気象
学会からは近藤理事がこのグループに参加す
ることとした。

会計…2004年4月分の収支報告

天気…Vol. 51 No. 5（2004年5月号）の掲載記事と
Vol. 51 No. 6（2004年6月号）掲載予定記事
の報告。

- ・5月号に，「気象」に掲載されていた1年間の
大雨と台風のまとめを掲載する。今回は2年
分掲載する。

気象集誌…Vol. 82 No. 4の掲載内容の報告

- ・J-STAGEによる公開を3か月のタイムラグ
を待たずに掲載するという通知を「天気」5
月号に掲載する。

堀内賞…受賞者は気象学会会員でなくても良いこと
を確認した。

国際学術交流…中国気象学会から，10月に開催され
る中国気象学会80周年記念年次大会に日本気
象学会の代表が招待された。受ける方向で進
めると回答することにした。

- ・2005年東大で開催される春季大会で日中韓気象学会共催の研究集会在開催可能かどうかを実行委員会で検討することとした。
- 電子情報…2004年4月1～30日の気象学会ホームページのアクセス状況(75,509件)。
- 地球環境…公開講演会を本日開催し、盛況であった。参加者の意見を聞いて今後の改善に生かしたい。「天気」に講演の内容を掲載する予定。
- 4. 会員の新規加入等について
新入会員32, 退会6を承認。5月12日現在, 会員数4,270名(内通常会員3,821名)。
- 5. 2004年度総会について
 - (1) 資料の最終確認
議案4日本気象学会定款・細則の一部改定について, 4-1定款の一部改定の第7項で改正後の「召集」を「招集」と訂正する(3か所)こと, 第9項は改訂の必要がないので削除すること,

の2点の修正が承認された。

(2) 総会参加票の集計報告

有権者数3468人中, 投票総数が1833であったことが報告された。

6. 平成18年度以降の大学入試センター試験「地学」出題方式に関する要望

2003年6月に大学入試センターが発表した2006年大学入試センター試験の出題科目及び出題方法によると, 物理と地学の2科目の組み合わせでは受験できない。このことを危惧し, 大学入試センター試験で地学を選択した場合に, ほかの選択科目として物理, 化学, 生物のいずれもが選択できる形式にするよう要望する要望書を地球惑星科学関連学会合同大会共催・協賛学会の各学会長・理事長一同が文部科学省高等教育局, 初等中等教育局, 及び大学入試センター宛てに提出することを承諾した。

第32期第7回理事会議事録

日 時: 2004年5月16日(日) 18時00分～20時00分

会 場: 東京管区気象台会議室(8階)

出席者: 廣田, 古川, 伊藤, 岩崎, 岩嶋, 勝山, 神沢, 木田, 近藤, 住, 田中, 津田, 坪田, 中澤, 新野, 藤部, 藤吉, 萬納寺, 以上18人

その他の出席者: 大西晴夫, 吉田明夫, 杉 正人(気象庁, 以上大会実行委員); 島村, 渡辺(以上事務局); 藤村弘志(気象庁, 関西地区後任理事候補者)

議 題

1. 2004年度総会について

(1) 資料の最終確認

議案4日本気象学会定款・細則の一部改定について, 4-1定款の一部改定の第7項で改正後の「召集」を「招集」と訂正する(3か所)こと, 第9項は改訂の必要がないので削除すること, の2点の修正が承認された。

(2) 総会参加票の集計報告

有権者数3468人中, 投票総数が1833であったことが報告された。

(3) 総会進行の確認

各議題を説明する担当などを確認した。

2. 2005年春季大会の準備状況

東京大学が担当し, 本郷キャンパスで5月15～18日(日～水)の4日間開催される。大学の独立行政法人化で, 2001年の本郷での大会よりも費用がかかることが予想される。予稿集の投稿料を取ることにについて, 事務量の増大, 免除の制度などを考慮に入れて検討する。

3. 2006年春季大会の担当機関について

気象研が担当し, つくば地区で開催される。

4. 日中韓の学術交流について

日中韓の気象学会がその大会に相互に招待することが2003年から始まっていることが報告された。2005年東大で開催される春季大会で日中韓気象学会共催の研究集会在開催可能かどうかを実行委員会で検討することが報告された。これに関して, 学会のセッションの1つとするよりも名称を国際会議とする方が中国や韓国から参加しやすいのではないか, 大会の実行委員会だけでは負担が大きいため別途組織委員会が必要ではないか, などの意見が出された。

5. 京都大学生存圏研究所の全国共同利用について